

県医活動報告

日本医師会女性医師支援センター事業九州ブロック会議

日時：平成24年12月16日(日) 14:00～16:00

場所：ホテルニューオータニ博多 3階「アイリス」

報告：男女共同参画委員会委員長 谷口 邦子

目的事項

- 1) 日本医師会女性医師支援センター事業について
- 2) 各県における女性医師支援の取組みについて
 - ① 沖縄県 ② 鹿児島県 ③ 宮崎県 ④ 大分県 ⑤ 長崎県 ⑥ 佐賀県 ⑦ 福岡県
- 3) その他

平成24年12月16日(日) 14:00～16:00に福岡市ホテルニューオータニにて開催された。各県から女性医師支援を担当している役員・日医役員が参加し、大分からは私と小田副委員長が出席した。

初めに日医から 1) 日本医師会女性医師支援事業について説明があった。

- ① 日本医師会女性医師バンク運用状況〈日医秋葉理事〉

H24. 11. 30現在就業実績336件（就業成立319件，再研修紹介17件）
大分県は求職者の登録が6件，求人者の登録が8件である。
 - ② 平成24年度「医学生，研修医をサポートするための会」共催状況（以下日医小森理事）

大分県では10月6日(土)に大分大学医学部にて開催，前回県医師会報で報告した。
 - ③ 平成24年度「2020. 30推進懇話会」の開催について
昨年の橋本委員，安武副委員長に加えて，私と小田副委員長が参加する。
 - ④ 平成24年度女性医師支援事業連絡協議会次第
今回の発表者の中から選んで参加する。
- 2) 各県における女性医師支援の取組みについて
- ① 沖縄県
沖縄県では女性医師部会の発足記事を地元新聞に掲載した。
メーリングリストを立ち上げ，234件が登録している。
女性医師フォーラム，病院長との懇談会（毎年9月開催），病院ごとの出張プチフォーラムなどを実施している。
女性医師の支援窓口に厚生労働大臣より「有料職業紹介事業」の許可を受けた。
 - ② 鹿児島県
女子医学生へ卒業時にメッセージを送る。
「進路選択をどう考えるか」というシンポジウムに中学生・高校生に参加してもらう。

「医師の子育て支援会」に労働局雇用均等室長に参加して法律的な話をしてもらおう。
「保育園訪問記」を医師会報に掲載する。
鹿児島大学における「男女共同参画推進センター」の取り組みが報告され、「メンター」「研究補助員制度」などが紹介された。

③ 宮崎県

医師会・大学・県の連携が印象的である。
大学では相談窓口、メーリングリスト、情報交換会、託児ルームなどを設置している。

「宮崎トライアングルWEB」を開設して子育て、介護の情報を流している。
女性医師の個別のヒアリングを行った。(11名に各2時間程度)

「医師会と医学部の学生向けセミナー」を開催したが、事前にパネルで医療機関を紹介、平日午後、大学で、学生が参加しやすいようにした。30名くらい参加した。

④ 大分県

小田副委員長が今年度の「大分大学医学部学園祭での研修会」と「職場環境アンケート」について報告した。

また私より医師会、大学、県との連携として「地域医療対策連絡協議会への参加」「12月15日に大分で開催された九州国立大学女性研究者シンポジウムでの大分大学医学部の活動」「レジナビフェア2013における研修病院ガイドブックへのメッセージの掲載」など女性医師にとどまらず支援が大きく広がっていることを補足した。

⑤ 長崎県

県の女性医師支援の「あじさいプロジェクト」、その委託先である大学病院の「メディカル・ワークライフバランスセンター」の紹介があった。(日医が大学中心に配布する雑誌“DOCTOR-ASE”03にセンターを立ち上げた伊藤昌子先生の記事が掲載されている。)

「復職&リフレッシュ支援トレーニング」として、「胸部単純エックス線写真」「輸液のはなし」「急変時対応」などが開催された。

離島での医師会入会率が低いことが示された。

⑥ 佐賀県

佐賀県での「医学生・研修医をサポートするための会」が報告された。

⑦ 福岡県

宗像医師会の「ささやかな育児支援」が報告された。

ベビーシッターに関しては厚生年金保険の被保険者に対して「こども未来財団」の補助が受けられることが示された。

また宗像医師会では育児支援金として、申請があれば1万円を支給する。

各県の取り組みを聞いて、大分県でももう少し新しい試みを取り入れていきたいと思っている。それには役員・会員の協力はもちろんであるが、医師会、大学、県の各団体の絆をもう少し深くし(特に求人・求職についてはそれぞれが人材窓口を持っているので、統一したものがないか考える)、今後の活動をしていきたいと思っている。

差し当たっては「職場環境のアンケートを集計・解析し、職場ヘフィードバックし、また若い医師への情報提供ができれば」と考えている。